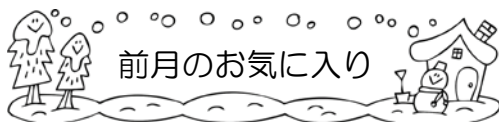


友達との関わりを
楽しむ



前月は一気に寒くなり、雪が積もるほどでしたね。雪で大変な中のお迎え、ありがとうございました。保護者の皆様を待つ間、子どもたちはなかなか見られない降雪の様子を窓越しに楽しみました。そしてその翌日には中央公園で雪に触れて遊ぶこともでき、最初から大喜びで遊ぶ子、しばらく様子を見てから遊び始めた子、保育士に抱っこされて雪景色を見て楽しんだ子と様々でしたが、どの子も冬ならではの楽しさを経験できたようです。今もなお道の端に雪が残っており、ベビーカーで通る際に見つけると『あれで遊んだね!』とばかりに指差しすることも。楽しい思い出として記憶に残っているようで嬉しく思います。

さて、最近、友達との関わりがとても活発になってきています。大型ブロックを太鼓にして一緒に叩くなど楽しい関わりもあれば、友達の持っている玩具が欲しくなったり取ってしまうなど、気持ちがぶつかり合う関わりもあるようです。しかし保育士が「貸してって言うんだよ」と伝えと、手を叩いて『貸して』と意思表示したり、それを見た子が玩具を貸したりすることができるようになってきました。まだ言葉や身振りで気持ちを伝えきるのは難しい年齢ですが、友達と関わるのが楽しいと感じられるよう、必要に応じて仲立ちしていきたくと考えています。



前月のお気に入り

上述の通り、中央公園の雪景色です！
茅ヶ崎では珍しく、遊べるほどに積もりました。
保育士が作った雪だるまに雪を載せたり、
ぎゅっぎゅっと歩いて踏みしめる感触を
楽しんだりして遊びました♪

雪

